

さかど

ロイヤルの園だより

発行
(福)栄光会
さかどロイヤルの園
坂戸市大字森戸 739-1

「桜」

三層亜麻のくだり
介護職員

入職から半年が経ちましたが、まだまだ慣れないことや分からないことも多く、日々先輩職員や、時にはご入居者からも沢山勉強させていただいております。

入職時より、ここさかどロイヤルの園では隣のグラウンドをぐるっと囲むように桜の木が植えられているので、春はとも眺めが良いと聞き楽しみにしていました。桜が咲く時期が近づくにつれ、ご入居者と窓の外を眺めては花が咲くのを今か今かと待ちながらそわそわし、いざ桜が咲いて来ると、窓の外一面に桜が咲きとても見事で感動しました。

世間では物価の値上がりや暗いニュースが続き心も沈みがちでしたが、窓から眺める満開の桜の風景が心を癒してくれました。今年は特に色々な気象条件から、桜の花も通年より長く咲いていたのでご入居者とも毎日桜を見ては「今年は長く咲いてくれたから、毎日眺めが良くて気持ちがいいですね。」と何度も楽しむ事が出来ました。

来年もまたご入居者の皆様と共に同じ光景が見られるよう精進して参りたいと思います。宜しくお願い致します。



「無くならないウイルス」

四層鴉のくだり
介護職員

昨年末当施設で、新型コロナウイルス感染症が発生し、クラスターとなってしまいました。ご入居者、職員も多数感染し、感染していない私たちもいつ感染してしまうか、感染していないご入居者に感染させてしまうのではないかと毎日ビクビクしながら介助を行っていました。

私が在籍しているユニットでは多くの方が感染し、ご入居者には大変な思いをさせてしまったと感じました。毎日「なぜ?」「感染予防しているのに...」「アルコール消毒もしっかりしているのに...」どうして感染者が増えてしまうの?」でも、どこか抜けているから感染者が増えてしまうのでしょうか。私は気を付けているつもりでも、他の人から見たら全然予防対策になっていなかったかもしれない。

どんどん進化していく未知のウイルスに感染しないように、感染を拡大させないように出来ることをしていかなければいけないと今回のことで思い知らされました。あれから数か月経ちますが、ストレスからか白髪の進行が早く、受けたダメージは正直に体に出るのだなと思えました。ストレスが軽減されるように早く新型コロナウイルスが落ち着いてくれることを祈ります。

「ささやかな楽しみ」

医務室
看護師

桜の花も散り、新緑の季節へと移り変わってきました。さかどロイヤルの園の前の大学のグラウンドの道沿いの桜が咲くとても見事で散歩を楽しまれていらっしゃる方々に出会います。先日、短い時間ではありますが、「ご入居者の方々と桜を見に散歩に行く」ときれいだね」という声を聞き、散歩に来て良かったと思えました。なかなか外出が出来ないことが多いため少しの時間でも気分転換が出来て良かったと思う出来事でした。

「二層 お茶会」



「春」

二層鶉のくだり
介護職員

長い冬が終わり、徐々に太陽の暖かさを感じられるようになってきました。春は体感的にも、本格的に寒さが和らぎ始める三月を春の初めと認識する方が多く、現在はこの考え方が一般的です。一方、歴史や文学・俳句の世界では、二十四節気に基づいて四季を区分しており、「立春（二月四日頃）」「立夏の前日（五月五日頃）」までが春とされています。つまり、二月・三月・四月頃を春とし、この三ヶ月のことを「三春」と呼んでいます。

さかどロイヤルの園も春を迎え、ご入居者と桜を観にお散歩に出かけ春を感じていただきました。皆様桜を観ては「きれいだね。」と仰り、笑顔多く見られ喜ばれていました。また、二層亜麻・鶉のくだりでは先日、春の味覚祭りを行いました。リビングを春らしい飾りつけにし、春らしい食材で季節を感じていただき、豪華な昼食で食事の時間を楽しんでいただけました。ちらし寿司、菜の花の和え物、きゅうりと茗荷の浅漬け、玉子焼き、和風ハンバーグ、お吸い物、季節のフルーツを召し上がっていただき、皆様「美味しい。」と笑顔で仰り、とても喜ばれていました。

今後、ご入居者の笑顔を多く引き出せるよう、またさかどロイヤルの園での生活の中で、楽しみが増えるよう頑張っていきたいと思っております。

「楽しみにしていた旅行」

一層浅緑のくだり
介護職員

先月の終わり頃に日本三景のひとつである、宮城県の松島町へ旅行に行ってきました。

一日目は午後三時頃に松島へ着き観光する予定でしたが、生憎宮城県に暴風警報が出され新幹線が止まってしまい、実際に松島へ着いたのは夜の十時過ぎでした。駅前でタクシーに飛び込むように乗り、何とか旅館へ辿り着くことができホッと一息をつきました。夜遅くに着いたので、部屋の窓からの眺めなど全く分らないままであったため、朝を迎えるのがドキドキでした。いざ明るくなると、部屋から海の水面に光る朝日を見ることが出来、とても感動しました。朝早くからの露天風呂も格別で、今まで温泉に興味を持つことがなかったのですが、日本各地の温泉を回って見たいなと思えるようになりました。

二日目はフェリーに乗り色々な島を眺めたり、瑞巖寺に行ったりと観光を堪能しました。しかし一番楽しみにしていたのは食事だったのですが、悲しいことに旅行数日前に体調を崩してしまい食欲が全く湧かず、牛タンもずんだ餅も牡蠣も食べることが出来ませんでした。楽しみにしていた旅行が踏んだり蹴ったりな結果となってしまいました。これに懲りずまた日本のどこかへ旅行に行ってみたいと思えます。

「桜」

三層瑠璃のくだり
介護職員

春の日差しの中に、施設周辺の木々が芽吹いてきました。そしてようやく桜の花も北限までたどりついたようです。ご家族の皆様もテレビや旅行、お花見などで桜を見る機会が多々あったかと思えます。施設前には東京国際大学の数百メートルの桜並木、また、お地蔵さんの隣にはたった一本の桜の木と趣は異なりますが、魅力的なさくらがあります。道中、散歩されている方はスマホ片手に

「パチリ」と写されていく方も見かけました。

「ご家族の皆様はお気に入りの桜の場所がありますか？私のお勧めは当施設からほど近い大家幼稚園裏の桜です。三、四本と数は少ないですが昔からあり、枝ぶりが立派です。また、目の前が田んぼや畑のため野菜の黄色い花が咲き癒される景色になっています。来年もきれいに花が咲き、癒してくれるよう願っています。

「三層浅緑・瑠璃 春のおやつレク」

